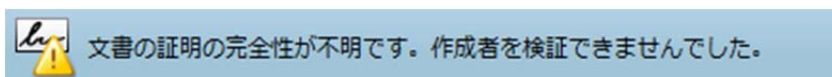
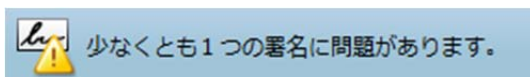


電子署名付き PDF ファイル閲覧時の注意表示への対処方法

内閣官房情報セキュリティセンター（NISC）が発行する PDF ファイルの一部は、政府認証基盤（GPKI）の官職証明書による電子署名が付与されており、改ざんが行われていないこと等を確認することができます。

この電子署名が付与された PDF ファイルを Adobe Reader 等の PDF 閲覧ソフトウェアで閲覧した際に、下記のような「署名に問題があります」または「証明の完全性が不明です」等の注意が表示される場合があります。



これらが表示される理由は、多くの場合、PDF ファイルを閲覧するためのソフトウェアが、電子署名の検証に必要な GPKI の官職認証局の自己署名証明書を参照できないためです。これに対し、ソフトウェアを動作させる PC 等の端末に官職認証局の自己署名証明書を追加し、ソフトウェアから参照できるようにすることで、電子署名の検証を行うことが可能となります。これを実施することにより、以降は官職認証局の自己署名証明書の検証が行われ、改ざんが行われていない PDF 資料を閲覧した際には、注意が表示されなくなります。

以下に Adobe Reader / Adobe Acrobat における官職認証局の自己署名証明書を追加する例を示します。

○ Adobe Reader/ Adobe Acrobat おける官職認証局の自己署名証明書を追加する例

GPKI の官職認証局の自己署名証明書は、Adobe 社が配布している信頼済みのルート証明書の一覧に含まれているので、これを利用する設定を行います。

- ① 編集／環境設定 (Windows) または Acrobat/Adobe Reader／環境設定 (Mac OS) を選択します。
- ② 左側の「分類」から「信頼性管理マネージャ」を選択します。
- ③ 「Adobe のサーバーから信頼済みのルート証明書を読み込む」オプションを選択します。このオプションにより、Adobe 社が配布している信頼済みのルート証明書を自動的にダウンロードできます。
- ④ 「今すぐ更新」ボタンをクリックします。これにより、GPKI の官職認証局の自己署名証明書が利用可能になります。
- ⑤ 以降は、官職認証局の電子署名が付与されたファイルを開くと、改ざんが行われていない PDF ファイルを閲覧した際には注意は表示されず、電子署名が有効である旨が表示されます。

